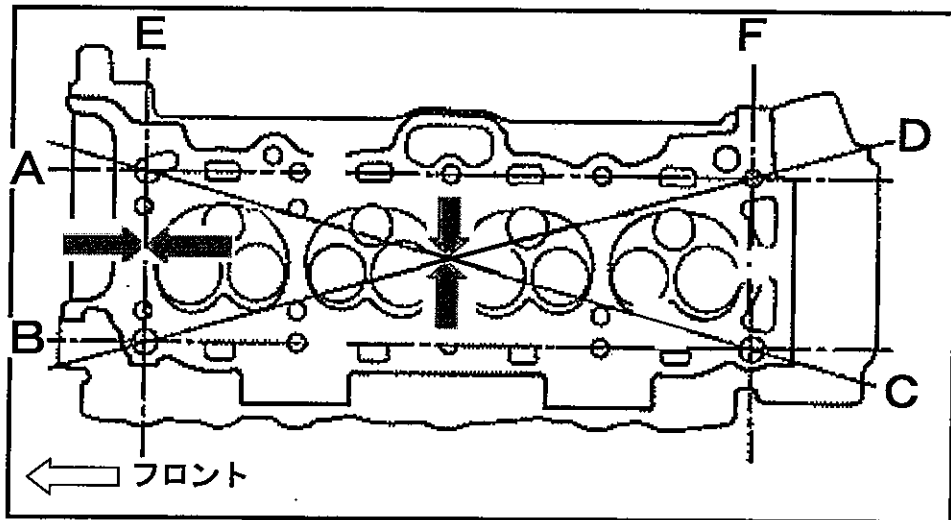


# 留意事項

## 問題 1

### 問 1 の留意事項

- ① 測定箇所：下図のD方向及びE方向の矢印で挟まれた位置



※図はシリンダ・ヘッドの一例である。

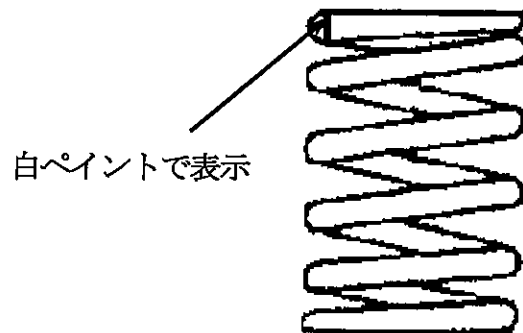
- ② DとE以外の各方向については、測定の必要はありません。
- ③ 歪の測定で、最も薄いゲージが入らない場合には、測定結果欄の数値は0(ゼロ)とする。

# 留意事項

## 問題1

### 問2の留意事項

- ① 自由長及び直角度の測定箇所：下図の目印位置(一箇所白ペイントで表示)
- ② 自由長の測定においては、ノギスのデプス・バーは使用しないこと。



- ③ 直角度の測定は、白ペイント部を上にして行うこと。
- ④ 直角度の測定で、最も薄いゲージが入らない場合には、測定結果欄の数値は0(ゼロ)とする。

# 留意事項

## 問題2

### 問1の留意事項

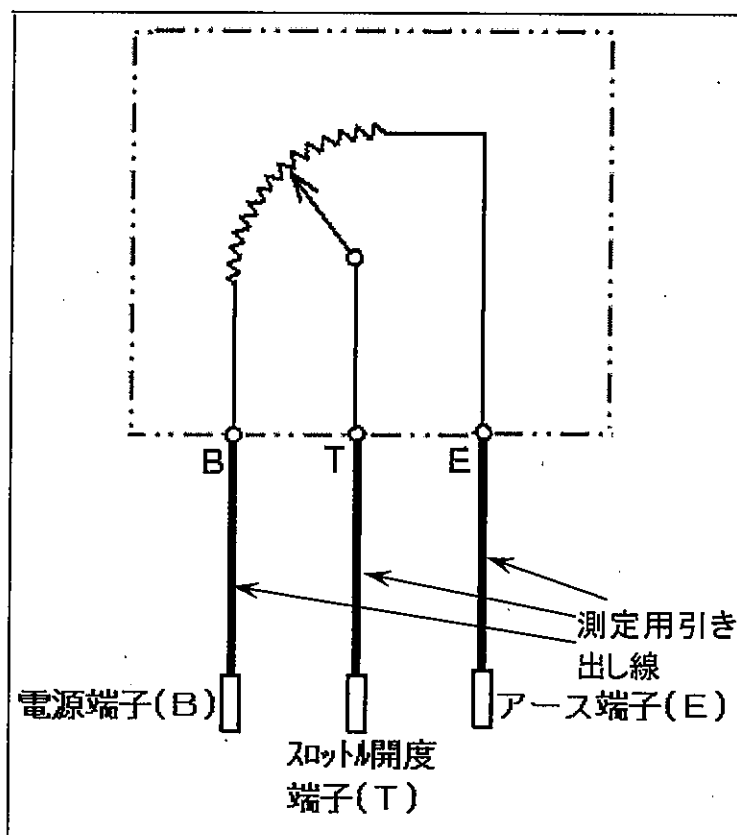
- ① スロットル・ポジション・センサ各端子間の基準抵抗値

T-E間：全閉時\_\_\_\_\_Ω ±50Ω

：全開時\_\_\_\_\_Ω ±90Ω

B-E間：\_\_\_\_\_Ω ±90Ω

- ② スロットル・ポジション・センサ回路図と各端子名



※図中の測定用引き出し線及び各端子の抵抗はないものとする。

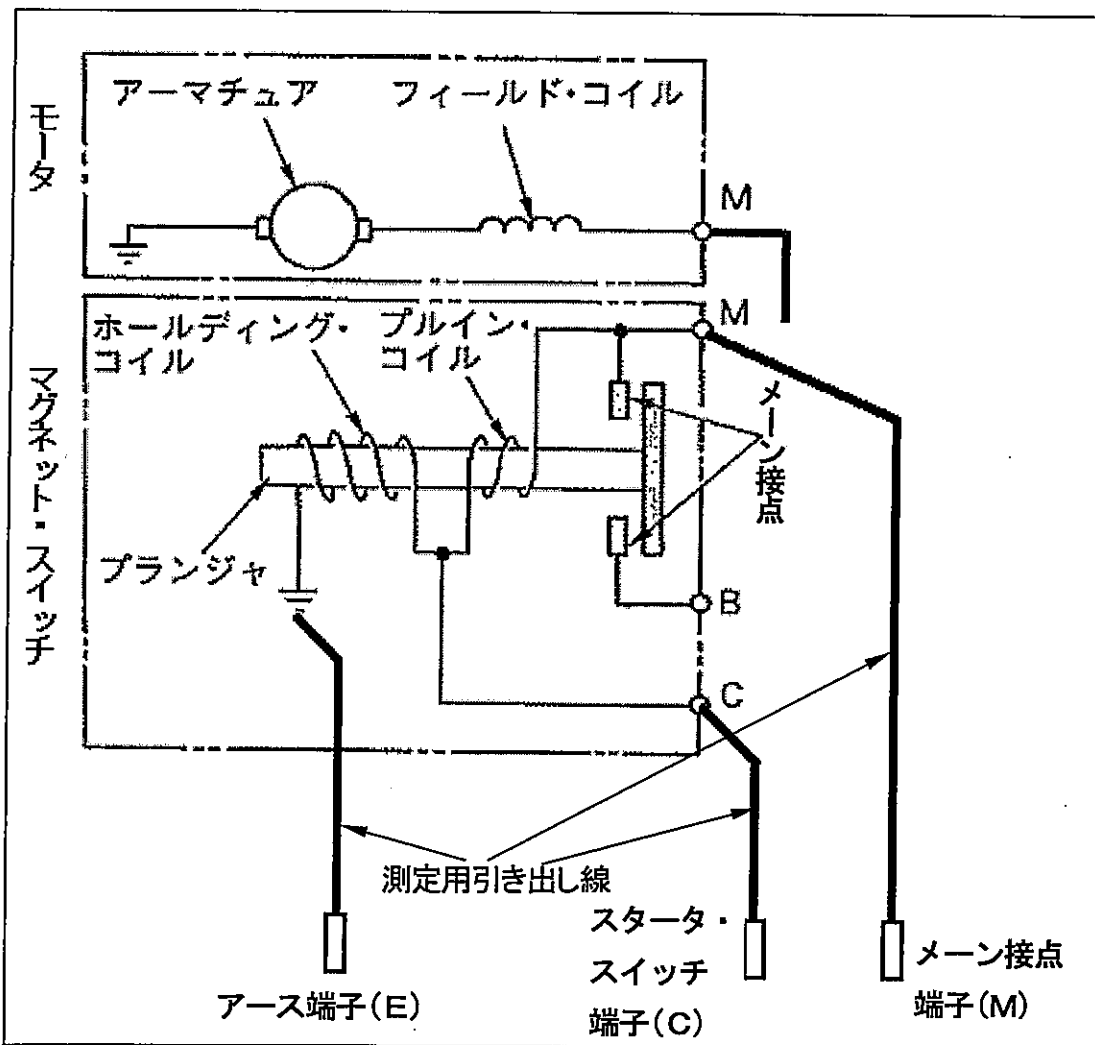
※測定用引き出し線の端子からテスト棒を外す際には、必ず、端子部を指で押さえて行うこと。

# 留意事項

## 問題2

### 問2の留意事項

- ① スタータのM端子の配線は、測定の都合上、取り外してあります。
- ② スタータの回路図と各端子名



※図中の測定用引き出し線及び各端子の抵抗はないものとする。

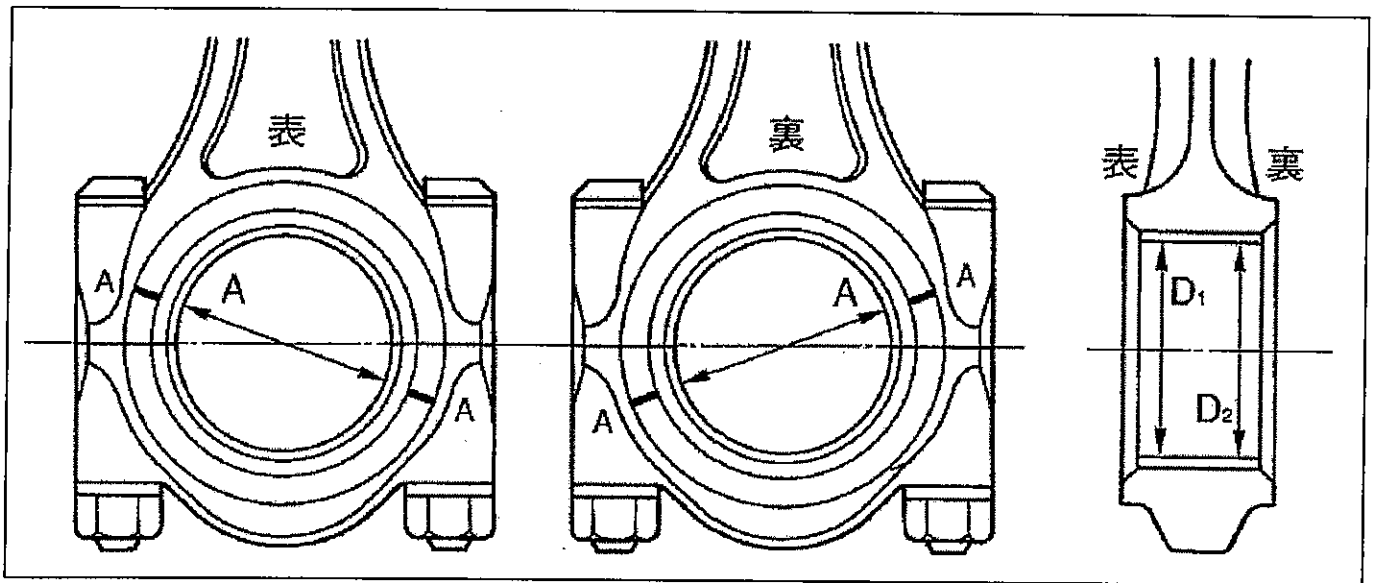
※測定用引き出し線の端子からテスト棒を外す際には、必ず、端子部を指で押さえて行うこと。

# 留意事項

## 問題3

### 問1の留意事項

- ① マイクロメータは0点調整済みなので、0点確認は不要です。
- ② 測定箇所：下図のA方向(表裏の二方向白ペイントで表示)の $D_1$ 及び $D_2$ の位置



- ③ 測定手順
  - (1) ノギスによる予備測定
  - (2) マイクロメータにセット
  - (3) 台上のシリンダ・ゲージを使用して測定
- ④ 測定機器は分解しないこと。